

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働者福祉・共済](#) | [教育カリキュラム](#) | [労働者自主福祉運動のすすめ（19）](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[協同組合](#)[労福協](#)[労働金庫](#)[全労済](#)[県生協連](#)[勤労者信用基金協会](#)[年金福祉協会](#)[福祉基金協会](#)[ユニオントラベル](#)[教育カリキュラム](#)

労働者自主福祉運動のすすめ（19）

「福祉基金協会」設立までの流れ

事業団体部会にて労働金庫より福祉基金制度を創ろうとの提起が出される 1975年11月
協同組合第5原則 教育中心「協同組合は人々に協同組合運動の特質と利点について知らせる」

静岡県労働金庫第24回総会決議 1976年5月
収支剰余金から4千万円を拠出し福祉基金協会を設立する

財団法人「静岡県労働者福祉基金協会」設立 1978年4月
各事業団体から3億5千万円の基金が拠出される

公益法人「静岡県労働者福祉基金協会」認可 2011年4月

[🔍 キーワード検索はこちら](#)

60、70年代と静岡労金はめざましい発展を遂げていきます。その躍進の原動力を当時の資料ではこうまとめています。

1、労働運動の一環と位置づけた

労組を担い手として強い一体感で事業推進ができた
既存の労組を母体として最初から大規模に進められた
労組の信用力をバックに社会的信用を獲得できた
教宣・申込受付・集金を労組に委ねコストを節減

- 1、県・市町村の労働行政と一体・連携し、未組織を含め勤労者福祉として取り組んだ
- 1、コスト意識を徹底し健全経営をモットーに自己資本の充実に努め、全員で頑張った

この成果を次の運動にどう繋げるかが、事業団体部会の新たな課題になりました。

そして1976年5月、静岡労金総会において「社団法人福祉基金協会」を設立することが決議されます。ここに福祉活動に最も重要な教育活動ができる礎石が誕生します。

1978年には各事業団体からの寄付金も加えて、新たな「静岡県労働者福祉基金協会」が設立され、名実ともに立派な福祉活動・教育活動の拠点として財団法人認可されました。

1977年、県労福協は1万人を対象とした「福祉アンケート」を実施します。

今後急速に高齢化社会を迎えることを反映してか、老人に関する福祉施設が必要だという回答が多く見られました。

そこで、県当局に申し入れて折衝をすすめる一方、聖隷福祉事業団とも協議を重ねて、1979年に軽費老人ホーム「ナグサ」の開設を決定します。

ム「もくせいのみ」を建設しよ。また同年3月に「静岡県福祉事業協会」を設置し、新しい事業として「保育園」「身体障害者療護施設」などの建設を企図しますが、適地を取得できず断念します。この「静岡県福祉事業協会」は1981年に「静岡県もくせい事業協会」と改称します。その後軽費老人ホーム「もくせいの里」は聖隷福祉事業団に委ねられ、「静岡県福祉事業協会」は新たに1992年福祉活動の拠点として財団法人「静岡県勤労者福祉振興会」として生まれ変わります。この「福祉振興会」は2008年「福祉基金協会」と統合します。

1986年には教育事業と教育センター事業の充実と整備の一環として「竹本文庫」が発足し、労働者福祉運動の資料収集や保管の業務が完備し、福祉教育活動の推進が計られました。

1990年には生活と福祉に係わる分野で総合的に調査研究する付属機関として「静岡ワークライフ研究所」を設立し、1995年には財団法人として独立しますが、2007年「福祉基金協会」と再び一体化します。

2011年4月からは「公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会」として新たな道を歩みはじめ、2012年に「ライフサポートセンターしずおか」を統合します。公益財団法人としてウィングを大きく広げた活動に各方面から多くの期待が寄せられています。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.